

① ナノハナは淡路島を象徴する花の一つですが、淡路島の東側と西側で、生産される種類に、どんな違いがあるのでしょうか？

② 次の文の空欄に適した言葉や数字を書き入れなさい。

（ ）（田に）（ ）をまき、年末商戦をにらんで（ ）から出荷。桃の節句が迫る（ ）以降、作業はピークを迎える。

③ ナノハナの栽培において、天敵のヒヨドリによる被害を防止するため、どのようなことをしていますか？わかるところに赤線を引きましょう。

④ この記事を読んだ感想を書き、友人や家族と話し合いました。

Blank space for writing answers to questions 1-4.

名前 【 】

NIEワークシート／小学校高学年、中学校

# 東の花の島

\*\*\*\*\*  
淡路花博2015

▽①△



## ナノハナ

2月の澄んだ空の下、一面の黄色が広がる。冬將軍が居ぬ間の陽光によく映える。

ナノハナは豪商・高田屋嘉兵衛の生涯を描いた司馬遼太郎さんの小説「菜の花の沖」で、淡路島を象徴する花の一つになった。嘉兵衛の郷里・洲本市五色町都志周辺を彩るのは

主に食用。観賞用の生産が盛んなのは淡路市の東側だ。

稲刈りを終えた田に種をまき、年末商戦をにらんで12月半ばから出荷。桃の節句が迫る2月中旬以降、作業はピークを迎える。

半世紀以上生産を続ける谷茂治（ちか）さ

（79）同市大谷は、約20畝の畑で約6万本を育てる。「真つすくで太い茎が理想」という。天敵はヒヨドリ。花を足がかりにして葉をつつくため、どちらもだめにしてしまう。「この音が怖いみたいや」。畑の中央、約10畝の高さに鍋ぶた数枚をつるし、半時間に一度はひもを引っ張って追い払う。かんらんから。牧歌的な音が畑に響いた。春はもうすぐだ。

（上杉順子）

◇ 「淡路花博2015花みどりフェア」が3月21日に開幕するが、会場の畑にも花はあふれる。島内の花き農家を随時訪ねる。

## 冬の陽光に映える黄色